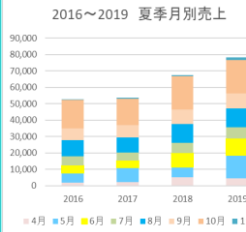


# 八幡平観光新聞

## 2019年夏季の状況と近況報告

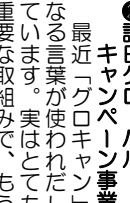
**●今年夏季の振り返り**  
2019年の夏季営業ももうすぐ終了、今年は冷え込みが遅れ紅葉も1週間から10日程遅くなり、11月上旬も落葉松が綺麗でした。観光道路の通行止めも最終日のみ、あの山賊祭りの荒天が無ければ記録的な数字になったと思われまふ。今年の夏季営業の状況を、継続してテラスタハウスの売上状況で観てみましょう。



山頂の売上は、気象の状況で大きな影響を受ける為一概には語れません。過去にはGWにスタートダッシュでできたのが前半の鍵でした。今も影響は大きいですが、グラフを観て頂くこの4年間で5月と6月の伸びが顕著であるのが判ります。これは正にドラゴンアイ効果で、各週末の個人と平日のパスの立寄りが増え、GWの影響を薄め安定化させて来ています。今年対前年で15.8%の伸びを示したのは、大手AGの国立公園への送客キャンペーンがあった事も大きな要因でした。

各施設・お宿でも良い評価が挙がって来ており、口コミでの拡がりも季節を凌いでの再来(リビート)に期待をしたいところです。

令和元年 11/26 八幡平DMO 発行人:文責 鳥海良信



### ●11月&12月の要件

勿論!冬に向けての最終準備は重要ですが、来季の計画と予算が固まります。観光に関する予算は市独自のものと国からの助成があり、震災以降は全体額がかなり膨らみました。国からの助成は当然期限があり、現状はかなり厳しい財政状況となっております。後で触れますが、2021年にJRの観光キャンペーンが控えており、来期予算は自体の活動予算に加え、翌年のキャンペーンを活かすの準備(版権写真の撮影等)の確保も必要となります。何れにしても、方向性を明確にして戦略を策定・共有し、その実行計画・役割分担・予算を納得感あるものに行きたいものです。

●訪日グローバルキャンペーン事業 最近「グロキャン」なる言葉が使われだしています。実はとても重要な取組みで、もう少し丁寧な説明を要するこの声もいただき、この機会に概要をご紹介します。8月号で少し背景をご説明しましたが、今日本の観光が変革期にあり、どの様なゲストを対象にして行くか?が重要となっております。ポイント是全国各地を訪ね滞在し、様々な形で旅行消費を増大してこのキャンペーンを狙いは、欧米豪市場を中心とした、旅行には頻繁に行くが日本を先として認知・意識していない層をターゲットにして、旅行動機II滞在型コンテンツを創造するということです。八幡平の取組みでは、

- 1)至高のスキーエリア
  - 2)自然との共生を知る
  - 3)農泊山里の暮らし
- (3)の3本のプロジェクトがスタート、これ迄の観光周遊の立寄りとは異なる観光への挑戦です。

●八幡平らしさの商品化 実は、欧米豪からの個人客を対象に、旅行動機に繋がるコンテンツを整理して行くこと、2007年にJRさんと展開した八幡平スロースターのプログラムに行き着きます。そのモニターツアーは大好評だったので実践では日本市場には時期尚早(価格・行程)だったのか?定着には至りませんでした。また調査では2&3次交通の不備が報告されました。今回は、旅についてより成熟した欧米豪の旅行客が対象です。

- ①モニターツアーの中で、八幡平の環境と体験の内容について高い評価を頂いていること
- ②東北エリアとして、欧米豪の主たる市場に対し、有力なチャネルからアピールする態勢が整っていること
- ③2点が大きな強みです。

また法規制の緩和によりツアーガイドが車で同行・送迎できることで、2・3次交通の課題にも明るい見通しが出来てきました。

●グロキャン(2) 「自然との共生」 10月号「観光地域づくりのコーナー」でもご紹介いたしました。今後進め行く個人旅行の戦略の軸は、

- (1)冒険・アドベンチャー
- (2)癒し・自然との共生
- (3)国の風土・食文化の3本です。

●自然との共生は、振興計画のアクションプランの5番「里山・雪国の暮らし」と連動しています。11/08・10の3日間プロジェクトのテーマ「より深い八幡平を知る旅」に添って、外国人のゲストを迎え、体験事業者さん達のワークショップの企画で、モニターツアーが行われました。

◆モテルコース設定 地域の見どころを足早に巡る「ファミルトリップル」視察旅行として設定を変えました。観て欲しいものたくさんあるのですが、欧米豪から旅行者達は、そこで暮らす人達の拘り・背景・生き方について興味があるということを踏まえ、プロジェクトを厳選しました。

- \*ルーツを辿る
- \*大地の再生を目指す
- \*焼け走り浴岩流
- \*岩手山の雄大な姿
- \*安比高原・ブナ林
- \*自然と馬との暮らし
- \*さとうとみさん家
- \*八幡平郷土料理体験
- \*安比塗器漆器工房
- \*職人技の見学と体験
- \*野獣館公園・屋敷座禅・瞑想の体験

●今後の展開 今回のトライアルで重要な役割を果たしたのが、本本来の在来馬と触れ合い、古来から現代に至るまでの自然と動物との関わりについて知り、森の樹木や馬とつながる感覚を体験するプログラム等、その周辺環境を感じる時間もとながら、プロジェクト役と案内をする形で進められ、多くの共感と気づきに繋がる事が出来ました。

◆欧米豪からの誘客 観光立国の四大要件として気候・自然・文化・食事が挙げられています。今回のコースと内容の設定にあたっては、八幡平の気候・自然・文化・食事を、そこに住む人達の生活を通して実感してもらえ、様々な仕掛けが用意されました。



### ◆スキーリゾートエリア

上質な雪を求めて来訪する外国人スキー客は増加しており、エリア間の競争も激化しています。八幡平市では安比高原を中心に大型

### ◆「観光振興計画」について考える

魅力ある「プロフェッショナル旅行の目的地」へ

投資を含め進めて買っていますが、スケール感の不足は否めません。そこで、旧八幡平スキー場周辺から下倉のバックカントリーエリアの活性化を図ることで、

### ◆大黒森キャット運行

対欧米豪への最大の販促要素は雪質です。先シーズに様々なシミュレーションとモニターライドを行い、この夏は、各関係者の方々による下草狩り等の整備作業もあって、いよいよ今シーズンより本格的な営業運行の運びとなりました。

### ◆ツリランエリア

安比&下倉で拡大

スキー場周辺のツリランエリアも拡大されています。当然危険を伴う滑走になりますので、ガイド&パトロールの雪上スキルも重要になり、近き事前講習会も開催されます。基本ルールの徹底とゲストへの注意喚起も進めて行きます。



その中で八幡平温泉郷の賑わいにつくりや、泊食分離への対応の2&3次交通の充実を図ることで、大更エリアでのナイトライフの充実にも繋げて行きます。

## 特集：地域の誇りを体験してもらう③ ※アクションプラン5「里山・雪国の暮らし」

### ◆暮らしの話を聴く

欧米豪の個人旅行が求めるものは、その国・その地方の自然と文化を訪ね、その暮らしを体験すること。今回はモニターツアーでは、観る・感じる・味わうを意識して構成されました。

牧場の大地と樹木からエネルギーを買った後には、その酵素を使ったケーキを馳走になるティータイムといった具合です。

### ◆今後の展開

今回のトライアルで重要な役割を果たしたのが、本本来の在来馬と触れ合い、古来から現代に至るまでの自然と動物との関わりについて知り、森の樹木や馬とつながる感覚を体験するプログラム等、その周辺環境を感じる時間もとながら、プロジェクト役と案内をする形で進められ、多くの共感と気づきに繋がる事が出来ました。

「より深い八幡平を知る観光」を目指してトライアルは続きます。





